

「ガバナー補佐になってみて」

国際ロータリー第2640地区IM3組

ガバナー補佐 岩橋 重文 (和歌山北ロータリークラブ)



決して志願した訳ではなく、微妙な立場だなあとには思っていたが、気がつけばきちんと指名されていた。

最初に心配したのは、迷惑かけずに、各会議や行事に出席できるだろうかという点であったが、幸い殆ど土曜か日曜の会議だったので、今までのところクリアできた。

昨年8月から9月にかけての全ての土曜日が、部門別クラブ委員長会議だった。毎週毎週暑い中、JA会館まで出掛けて、他のガバナー補佐の方々と席を並べて耳を傾けていたが、各クラブの活動状況を知ることができ、今では良かったと思っている。何より、平原ガバナーの、目の前がパット明るくなるような、飾らず率直で解りやすい、元気いっぱいのお話を聞いて、毎回楽しい気分での帰路につけた。

それから、和歌山城南RC、和歌山南RC、和歌山北RC、和歌山東RCの順に、クラブ協議会に参加させて頂いて大変勉強になったが、各クラブ共、素晴らしいロータリアンが大勢在籍しておられる中で、高い席からの最後の講評には閉口した。毎回、恐る恐る感じたままに話させて頂いたが、非常に寛容な方ばかりで、黙って聞いてくださり、助けて頂いた。

皆様ありがとうございました。

(RI第2640地区マンスリーレター・2008年3月号より)